

出会い ふれあい 助け合い

サロンのあべの

VOL.163

ちよつと早い
年忘れ昼食会

へサロン・あべのの12月の出会い

平成11年12月4日(土)午後12時より、阿倍野区にある天王寺都ホテル新館・二階の「中華料理 四川^{しせん}」で「ちよつと早い、年忘れ昼食会」を開きました。

例年でしたら「クリスマススの出会い」の場を持つ月ですが、今年から趣向を変えてみようというこで、外食の場を用意させていただきました。晴天に恵

まれて師走という雰囲気を感じられないほど穏やかな日和の中を参集くださった皆様方と個室で二つの円卓を囲みました。

まずは、ビールとウーロン茶での乾杯の後、それぞれのテーブルで自己紹介や今年の思い出など話の花が咲き始めた中で、

- ・野菜サラダ
- ・カニスープ
- ・卵のチリソース煮
- ・豚肉細切りと高菜の炒め物
- ・ご飯
- ・ザーサイ

など次々と運ばれてきました。どの料理もあっさりした淡泊な味つけで、油を感じさせる中華料理のイメージはなく、美味しくいただきました。

今回、参加された方々はお顔なじみの方が大半で、お互いの再会を喜ぶ出会でした。が、初参加の方もおられ、嬉しい出会いともなりました。その中に

加賀谷夫妻の長女 理沙ちゃん(6ヵ月)の出席はこの他、嬉しいことでした。人見知りもしないで、にこにこ笑みを振りまいて参加者の心の底まで和ませてくれました。また、一年ぶりにお顔を見せてくださった方、毎年のことだからと早くから12月のスケジュールに入れてくださった方などのお話は、それぞれの師走の中での忙しさからちよつと横に外れたゆとりや時間と感じました。各自の生活は時間に追われるものであるかもしれないませんが、何にも囚われることなく時間を気にしないで、遊びや趣味の話から、障害のこと、老後のこと、介護保険のことなど、日ごろ気にしながらも話す機会の少ない話のあれこれを交わしましたことは、1999年を締めくくるサロンの出会いにふさわしいものでした。

参加者16名(畠田慶子)

ピア・カウンセリングを考える

—ありのままの自分を受け入れ、
生き生きとした生活を送るために—



伊藤智佳子

△生活支援事業について▽

平成8年5月に、厚生省社会・援護局長から各都道府県知事・指定都市市長・中核市市長あてに、「市町村障害者生活支援事業の実施について」が通知された。これは、各都道府県、関係する市に対して、平成8年4月1日より実施されることになった「市町村障害者生活支援事業」について周知させるものである。「市町村障害者生活支援事業」は、在宅の障害者本人や家族の地域での生活を支援する目的で、「市町村障害者生活支援事業実施要綱」に基づき実施されることになった。

【わが国におけるピア・カウンセリングの現状から確認できたこと②】
—障害者基本法、障害者基本計画、生活支援事業との関わりから①—
前号（VOL. 162）では、障害者プランの個々の施策、特に、心のバリアを取り除くために、についての評価を行った。今回は市町村障害者生活支援事業の概要について若干の整理を行う。

「書者の自立と社会参加の促進を図ること」である。

事業の実施主体は特別区を含む市町村であるが、事業全部または一部を以下のような施設などを運営する地方公共団体、社会福祉法人などで適切な事業運営ができると認められるものに委託することができることになっている。すなわち、

① 身体障害者更生施設などリハビリテーション施設

② 身体障害者療護施設など生活施設

③ 身体障害者福祉センター、身体障害者デイサービスセンターなど機能訓練実施施設

設

④ 障害者に対する相談・援助活動を実施している社会福祉協議会

などが委託可能なものに挙げられている。そして、これらの事業の実施主体は以下の事業を行うことが定められている。すなわち、

① ホームヘルパー、デイサービス、ショートステイなどの利用援助

② 社会資源を活用するための支援

③ 社会性活力を高めるための支援

④ ピア・カウンセリング

⑤ 専門機関の紹介
である。

①にはサービスマニエールの提供、サービスマニエールの助言、介護相談、利用申請の援助、その他必要な保健医療サービスの支援、②には福祉機器の利用助言、外出の支援、コミュニケーションの支援、住宅改修の助言、生活情報の提供など、③には自分と障害についての理解プログラム、健康管理プログラム、金銭管理プログラム、家族関係、人間関係プログラムなど、⑤には身体障害者更生相談所、職業安定所、医療機関、保健所など、と具体的な項目が挙げられている。しかし、④のピア・カウンセリングだけは、「障害者自身がカウンセラーとなって、実際に社会生活上必要とされる心構えや生活能力の習得に対する個別的援助・支援」と書かれているだけである。つまり、ピア・カウンセリング以外の事業については、具体的な項目設定が可能であるが、ピア・カウンセリングについてはその名称だけが先行しており、内容についてはつきりとは広くに行き渡っていないということになる。

正月雑感

平成十二年の幕が開いた。今年には昨年までとちがって西暦が一千年代から二千年代に移り変わり、誠におめでたいことであり、感慨深いものがある。それだけに同じ正月でも、今年には新鮮味を帯び、希望に胸ふくらむことも多いのではないだろうか。

しかしのほほんと安心はしておれない。二千年を迎える社会は、いろいろな難しい問題を抱かえているらしい。たとえばコンピュータの誤作動から正月三が日は、食料品が買えなくなったり水道の水が出なくなったり、あるいは電気が停まったりするので、生活資源を備蓄しておく必要があるといわれている。でも私たち夫婦は二人とも余り気にしない性質なのか「なかつたら、ないでいいわ」「二日か

晴れのち晴れ

⑬

稲垣 恵雄

らデパートでもスーパーでもオープンするので買いに行ったらいいやんか」と深刻に受け止めずに過ごしたのである。

ところで一月の異称として正月、睦月、初春月、ジャヌアリ（これは日本語じゃありませんね）とあるが、どれをとっても新年の最初の月の呼び名に相応しいと思う。

そしてまた一月のことばとして、新春、元旦、年賀、初日、初春、恵方詣、獅子舞い、探梅、初年、年の始め、新玉の年、新歳しんさいなどがあるが、当然のことながら「新」や「初」のつくことばが少なくない。このような中で私は「今朝の春」ということばが好きである。この「今朝の春」は俳句の季語にもなっているが、ほのぼのとした温もり、明るさ、初々しさが感じられる。

★心の温度差



例年、クリスマスより少し前、こちらでも年賀状を書き始めようかと思うころに喪中欠礼のハガキがくる。驚いて受け取るハガキもあれば、ああ、あの人は今年亡くなったのだなあと思いつきながら受け取るハガキもある。

街に出ると、クリスマスは商店街を

中心に明るくにぎわっている。プレゼントが交換されたり、いっしょにケーキを食べたりと、家族や仲間、恋人たちには楽しい時が流れている。

私は、その時の流れに沿いながらも、数日前に受け取ったハガキを思い出す。夫を亡くしたあの人は、いまごろ一人どうしているのだろう。子どもを亡くしたあの人は、クリスマスのプレゼント売り場の前を、どんな気持ちで通り過ぎていくことだろう。

周りがにぎやかになり、華やかになればなるほど、自分の生活がそうではない人はその落差を感じ、いっそう気持ちが悪くなるのではないか。冬の寒さと夜の長さが、暗い気持ちをさらに追い詰めてしまえばいい。

一方では幸せを感じている人がいて、他方ではそうではない人がいる。これは世の常であり、とくに珍しいことではない。どんなに科学が発達しても社

会福祉制度が充実しても、幸せを感じている人と感じていない人の両方がいるということは変わらないだろう。

ただ、冬という時期、クリスマスとお正月にかけては、その感じている幸せの落差が目につくようになる。温かい春や活動的な初夏には、そういう「心の温度差」が、それほど感じられない。

しかし、冬の「心の温かさ」をよく見ると、それは小さな家族のなかだけで温めあったものや若い二人の間で静かに揺らいでいるものが多いのである。街のにぎやかな明るさも、通行人に何かを買わせるための心理的な演出にすぎないように思える。あとは、テレビのなかの騒々しくわざとらしい笑いが耳に残るだけだ。

たしかに、ずっと昔から人間の社会には幸せを感じている人と感じていない人がいた。そして、冬の寒さと夜の長さは人の心を沈ませがちだったこと

も確かだ。だからこそ東洋でも西洋でも一年の始まりを冬としたのだろう。もつとも暗くなりがちな日々、人を明るくする新年やクリスマスという行事を置いたのだと思う。

ただ、いまと比べれば、昔は、なにかを祝うときに小さな家族や仲間うちだけで、ひっそりと祝うのではなく、近隣の人びととともに喜びを分かち合ったのだと思う。そのにぎやかさは商

いい社員です

前号の「自然と常識」の相談者の方に同情します。

多分、この上司はとても忙しく、来客の多い人だと思います。相談者を仮にAさんとして、Aさんはきつと一生懸命仕事をしている人なのです。だからつぎつぎ一人で決済できない問題が出てきたり、質問が出てくるにちがいません。

Aさんは接客中の上司に質問するときは

品販売のための演出ではなく、また遠く離れたテレビ・スタジオの作画的な喜びの表情でもなく、身近な人々の素朴な笑顔から来ていたはずだ。

近年は気候上の変化で、冬は温かくなっているのかもしれない。しかし、人々のつながりの輪が小さくなり、幸せを感じている人と感じていない人の「心の温度差」はいっそう広がったのではないかと思えるのである。(知)

事前に内容が急ぎかどうか、重要かどうかよく考えて、その上でどうしてものときは「お話中申し訳ございませんが…」の一言をいって聞けばいいし、でなければ「失礼いたします」といってメモをそつと手渡すのもいいのでは。あるいは上司以外の人に聞くという手もあります。

上司も、用談中の相手に「ちょっと失礼」と、話を中断するくらいの余裕がほしいものです。

どちらにせよAさん、あなたはとてもいい社員です。

(埼玉M・N)

朗読グループ「ぼけっと」のご協力で、
Aサロン・あべのV紙一六二二号の録音テープ(六〇分)が出来ました。
朗読テープ文庫

1. Aサロン・あべのV紙は、第一号より一六二号までそろっています。(五〇号は、九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は、一二〇分テープ二本)
2. Aサロン・あべのV十周年記念誌「はあとが、はろー!」(九〇分テープ二本+一二〇分テープに収録)
3. 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
4. 「ラジオたんぱ」放送『Aサロン・あべのV平成七年五月の出会い』放送分(三〇分)
5. エッセー集「逃げたヨナク」ボラントリーア活動の周辺(岡本栄一著・糸でんわ音訳)
6. 「キミたちだけじゃ困るんだ」身障者だけで旅した十余年(山田誠1995年著・糸でんわ音訳)
7. 「金子みすゞへの旅」(島田陽子著九〇分テープ二本・糸でんわ音訳)
8. 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一二著・九〇分テープ四本糸でんわ音訳)
9. 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著・九〇分テープ五本糸でんわ音訳)

いずれもご希望の方には、ダビング、または貸出しをしますので、富田までお申し出ください。(☎〇六・六六九一・二〇二八)

植物あれこれ

第十二回

山口康二郎

— タケの花 —

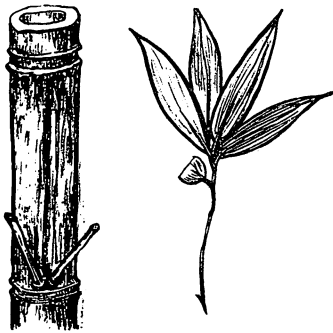
植物は一般には花粉袋がめしべの先端に付着し種子ができて繁殖するのですが、種子を作らないで繁殖するものにタケがあります。

タケは地中に縦横に地下茎を作り、新芽を出します。これがタケノコで、花も咲かず種子も作らず、毎年何十本という新しいタケを作り出すことが出来ます。

マツと並んで正月に飾られるのはこの繁殖力に「子孫繁栄」を願う人間の思いを込めているのです。もう一つはマツもタケも一年中茂っているように見えることから、若々しさと元気さにあやかろうとする気持ちもよくわかります。しかし、葉は一年中茂っているように見えますが、実は何分の一かは黄変し、落ち、一年の間には新しい葉と交替しているのです。落ちた葉はやがて土となり、またタケの栄養分となります。

このくり返しが植物の世界では行われているのです。二十年、三十年とこの平穏な生活が続いているうちに実はタケにとっての一大危機が訪れるのです。

一定の土地に拡がり過ぎた地下茎に微量ではあるが必須のマグネシウムや鉄、カリウム、ナトリウムなどが不足して、ゼロに近づいてくるとタケの生活は危機に瀕します。動物のように移動出来ないタケは一族の全滅を待つ意外に術がなくなるのです。この最悪の事態にタケは非常手段を取って何とか子孫を残そうとします。それは花



を咲かせることです。

タケが最後の手段として花を咲かせるのは、二十年に一回か三十年に一回といわれています。イネやムギに近いタケの花は、きわめて地味で、風の力を借りて散布するいわゆる「風媒花」です。種子を作り、子孫を残したタケ林は、間もなくいつせいに枯れてしまいます。

タケと親戚関係にあるササも同様の運命を辿っています。

地下茎で繁殖しつつ花も咲かせる植物で皆さんご存じなのは、ジャガイモ、サツマイモがあります。

ジャガイモは栄養分を含んだ地下茎で、イモ自身から新しい植物を生じる能力があります。

またサツマイモも花が咲き種子も出来ませんが、栄養分を貯えた根であるイモ自身から新しい植物体が生まれます。サツマイモはその上、四方に伸ばした蔓が土に触れると、そこから根をだし貯蔵根を作るといってたくましいものです。

今年もわれわれ人類のはるかな先輩の植物に学びながらの一年になりそうです。

美智子のこんな話

岸田美智子

介護保険でああなたの生活はどうなる？

先月と同じ内容で恐縮ですが、もう一度おつきあいください。

「まいど」の公開セミナーが二月二六日(土)午後一時から四時まで長居障害者スポーツセンター二階会議室で開かれます。

今回で三回目になる公開セミナーは、自立生活センター「ナビ」の尾上浩二代表を講師に迎え、「介護保険と障害者のあり方は？」のテーマでお話していただきます。

いよいよ実施が目前に迫った介護保険

制度ですが、自立支援や社会参加の視点がまったくなく、いろいろな問題点が数多く指摘されています。今回のこのセミナーでは、そのような介護保険の最新情報を検証し、地域で重度障害者が、より豊かに自立生活を送れるように介護保険制度との関連性について、わかりやすく考えていくことにしています。

講師の尾上氏は、「制度のスペシャリスト」といわれています。それだけに、健常者、障害者を問わずすべての人たちの問題である介護保障について、この公開セミナーを通して考えていただきたいと思えます。

なお、当日は手話通訳があります。資料代は五〇〇円です。

できるだけたくさんのご参加をお待ちいたしております。

○連絡先

自立生活センター・MYRD(まいど)

大阪市住吉区長居西一〇九一―二

(キミハウス一階)

電話・ファックス

(〇六) 六六〇九一三一―三三

感謝

カンパ、切手、はがき等のご寄贈ありがとうございました。

石原 栄(大阪義肢装具センター)、今西美奈子、大城福久子、T・R、長島伊津子、中村久子、比屋根章子、森 芳江、倭 満也子、山本鈴子、山本敏子、その他の方々



ききみみずさん

「おどり」

「踊るあほうに見るあほう、同じあほうなら踊らな損々……」と歌にもあるように、踊りは我が身を使って表現してこそ楽しいもの、障害を持つ身では難しいと長年思い込んでいましたが、最近になってどんな障害があっても踊る気持ちがあればそれは可能なことと認識を新たにしました。サロンが始まった頃、視覚障害の方がソーシャルダンスで楽しんでることを知りました。音楽に合わせてダンスをする姿を見て、そのステップの確かさに驚くとともに、視覚障害は手足に障害がないし、音感が鋭いから出来るのだと受け止め

ていました。そして、車椅子ダンスの出現で肢体障害者も踊れるのだと目覚めました。また、知的障害を持つている人は体全体でリズムに乗って踊ります。障害に関係なくそれぞれが曲に合わせてダンスや踊りを楽しめる姿は見ている方も心優しいものです。しかし、それらの方々は音楽を聴きながらリズムに乗っているのです。踊りは音があつてこそという固定観念が気付かないままありましたが、昨年の暮れに出会った日本舞踊の方は全く聞こえないにも関わらず、流れる音曲に差す手引く手もびたりと決まり、情感たっぷりに舞う姿は観る者に無音の世界を忘れさせる内容でした。

(け)

お知らせ

△サロン・あべのV2月の出会い

日時 … 2月19日(土)午後1時〜4時

場所 … 育徳コミュニティセンター

2階研修室(ロープ・恵すてい有)

〔阿倍野区阪南町5-15-28〕

内容 … 『楽しいマジック』

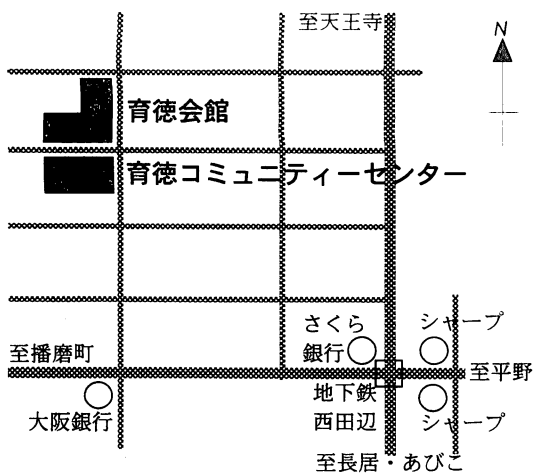
パネラー… 岸本 秀 男 氏

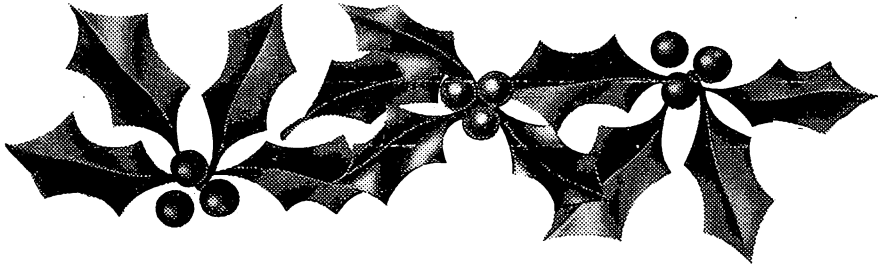
大阪市生涯学習インストラクター

会費 … なし

お問い合わせ先…

TEL 06-6691-1028 (富田慶子)





海の向こうから

メリー クリスマス

ドイツ：ブリギッテさん

クリスマスカードをありがとう。

2000年のパーティが素晴らしいものでありますように。

あなたの願いがかなえられますように。

今年の冬は、雪がほんの少ししか降っていないので、ホワイトクリスマスにはなりそうにありません。それでも私はクリスマスの雰囲気を楽しんでいます。

神のお恵みを。

ブリギッテ

イギリス：マーガレット・ボウラーさん

あなたがたは、幼な子が布にくるまって、飼葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう (ルカ伝2章12節)

クリスマスの祝福を。

マーガレットより

アメリカ：パティさん

親愛なる慶子さん

お手紙本当にありがとうございます。

あまりお便りがありませんが、手紙を書くのも大変なんでしょうね。「サロン」紙に記事を載せていただくにはどうしたらいいんでしょうか？ 出来れば載せていただきたい情報があるんですけど。

今、クリスマスの雪が積もっています。ほんの少しですが、キリスト教徒にとって、クリスマスは大切な日です。プレゼントも大切ですが、私たちにとってはキリストの誕生を祝うことに意義があります。

2000年が良い年でありますように、お身体を大事に、

馬さんは、日本語を話されますか？

パティ

楽しい休暇をお過ごしください。

トラッキー

ゲア、パティ、スージー、

そして、スクラッピー

訳・林正弘



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」2月の出会い

日時：2月20日(日)午後1時30分～4時
場所：大阪市淀川区三国本町2-14-3

「やすらぎ」

テーマ：「視覚障害者になって、
ありがとう！」
障害を持って学んだこと、
そして夢と希望

パネラー：辻 秀吉氏

大阪市視覚障害者福祉協会
東淀川分会 会長

会費：なし

問い合わせ先：淀川区社協(ボランティア・ビューロー)
TEL06-6394-2900

■「サロンつるみ」2月の出会い

日時：2月20日(日)午後1時30分～4時
場所：大阪市立鶴見会館

[大阪市鶴見区横堤5-5-51]

テーマ：「作業所の活動としての
ボランティア」

ゲスト：西尾悦子氏
消費生活アドバイザー

会費：お問い合わせください

問い合わせ先：鶴見区社協(ボランティア・ビューロー)
担当=藤井TEL06-6913-7070

■《てくてく・すみよし》2月の出会い

日時：2月12日(土)午前11時～午後3時
場所：あびこ職員会館

大阪市住吉区南住吉3-5-23

TEL06-6693-6621

(阪和線JR我孫子町下車5～6分)

内容：2000年新年会

*昼食&カラオケ、他

会費：2500円(会場費、食事代込み)

締め切り：2月5日まで

問い合わせ先：TEL06-6692-8411(山本篤江)

■「サロン『アイ』」2月の出会い

日時：2月12日(土)PM1:30～4:00

場所：「おかちやま」多目的ホール

[大阪市生野区勝山北3-13-20]

生野区在宅サービスセンター

TEL06-6712-3101]

内容：「童謡・唱歌」

～童心に帰って歌おう～

パネラー：^{ひろ}瀬 ^せ千 ^ち寿 ^こ子 氏
^{ひろ}鳥 ^{うみ}海 ^{よう}容 ^こ子 氏

会費：なし

問い合わせ先：生野区社協(ボランティア・ビューロー)
TEL06-6712-3101

■「サロンいたみ」2月はお休みです

編集後記
FROM EDITOR

ほぼ平穏に2000年が明けました。なにはともあれ、新年おめでとうございます。今年は<サロン・あべの>ができて15年になります。1周年、5周年、10周年やサロン紙が100

号のときなど、節々に当たるときに、記念のグッズを作ったり、記念の出会いをもってきました。それで15年の今年はどうしましょう。何かいいお知恵ありません? (石)

編集人：サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.163[H.12. 1.15.発行]定価¥100.

代表：山村貴司〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺5-1-18 TEL06-6691-9071

連絡先：富田慶子〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 TEL・FAX06-6691-1028

表題：井上憲一・筆 文中イラスト：石田美禰子

郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941

印刷：セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDE#2F TEL06-6719-8212